

令和4年度第3回 帯広圏デジタル化推進協議会 会議結果

日時：令和5年3月6日（月）
書面開催

1 議題1：帯広圏デジタル化推進構想（骨子）について

- ・座長、委員から今後の論点等について次のとおり意見があった。
- ・今後の協議に向けて対応を検討する。

提出者	意見（論点）内容
座長	<p>■全体</p> <p>○「デジタルによる広域自立圏構築のロールモデルになることを目指す」等の表現を入れてはどうか。</p> <p>■「1 1市3町で取組を進める背景」</p> <p>（3）デジタルの特性の箇所以下に以下の要素を加えてはどうか</p> <p>○帯広圏で産業・技術・観光等に関するデータ・人材蓄積することにより、大都市集積に負けない産業創出が可能な環境を生み出せる。（帯広圏を起点として十勝圏域の産業・経済活性化につなげる（可能性が広がっている）環境が整ってきていると考える。）</p> <p>■「2 基本的考え方と戦略」</p> <p>○2つの戦略は基本的によいが、図について、ウエル・ビーイングとローカルハブを左右に配置した背景を教えて欲しい。</p> <p>○目指すべき方向性も概ねウエル・ビーイングとローカルハブに対応するようにまとめていただくとうわかりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウエル・ビーイング→生活圏向けデジタルサービス ・ローカルハブ→デジタル化による地域産業の進化（名称要変更） ・将来投資→人的資本の充実（名称変更） ・インターフェイス→圏域内外に向けた魅力の発信基盤づくり など <p>○ローカルハブ（デジタル化による地域産業の進化）に関する内容を補強すべき。十勝・帯広エリアは札幌に次ぐスタートアップ先進地域である。地域産業の活性化（生産性向上、すそ野展開）と新事業創発を図っていくといった表現があってもよいと思われる。</p> <p>○地域・圏域に向けたデジタル・データ基盤について広域圏を単位として構築していく（国と連携しながら）といった項目を追加してはどうか。</p> <p>○人材（デジタル企画・推進人材、デジタル産業人材、カタリスト）の育成についても触れてはどうか。</p> <p>■「4 重点的に取り組む分野とテーマの例」</p> <p>○エネルギー・サステナビリティ（脱炭素分野）を入れてはどうか。</p> <p>○医療領域を加えてはどうか。</p>
委員	<p>■「2 基本的考え方と戦略」</p> <p>○「目指す方向性」の「○生活圏としての住民向けデジタルサービスの共通化」について、「医療」を加えてはどうか。</p> <p>■「3 推進手法」</p> <p>○「（1）他の事例の横展開を進める」の「十勝エリアの他町村への～」について、「将来的に」等の文言を加えてはどうか</p>

<p>○「(3) デジタルに親和性の高い世代から広げていく」について、比較的導入しやすいものから取り組み、住民に利便性を実感してもらうことが必要であり、直接的な記載は必要ないのではないか。</p> <p>■「4 重点的に取り組む分野とテーマの例」</p> <p>○公共交通：自動運転 について、「MaaS」という表現にしてはどうか。</p> <p>○食・農業 について、農業分野は「農業関連データの共有・活用の検討」等、もう少し具体的に記載してはどうか。</p>

2 議題2：アドバイザーボードの委員について

- ・各委員から特に意見はなかったため、提示の案をベースに所要の手続きを進める。